

CityView!

「CityView!」では、市のイベントや地域的话题を、市民の皆さんにお届けします。
掲載した写真は、データで提供します。希望の方は問い合わせください。>



ブルーインパルス年度末設置決定

ふるさと納税や団体寄付協力企業に感謝状

市は「道の駅東松島」敷地内にブルーインパルスの退役機を設置する計画を進めており、この整備費や維持費はクラウドファンディング型ふるさと納税や企業から寄せられた善意で賄うこととしています。渥美市長は協力企業に随時感謝状を手渡ししながら、「皆さんの善意を大切に活用し、よりよい展示につなげていきます」と話していました。また、退役機の設置は年度内に予定されています。



▲設置イメージ



▲練橋野潟建様



▲戦テクノカミオカ様



▲齋藤工業様



▲日本製紙石谷テクノ様



▲ミュージックスクール九ちゃん様



▲胸アドテック様



▲高橋土建様



▲戦矢部プロカッティング様

台湾のファンさん 初優勝

サンドアートジャパン杯

全国のサンドアーティスト10人が日本一を競う「サンドアートジャパンカップ2025in東松島」の審査会で、台湾の砂像作家、方智達さんの作品「砂の獣国」が選ばれ、初優勝を果たしました。

(11月3日、市コミュニティセンター)



野蒜石の歴史を観光に繋げて

木島新一さん 制作・寄贈

野蒜石についての歴史や石切り場跡の活用方法などについてまとめた「東松島 石材の歴史と文化」を木島新一さんが制作し、野蒜石の歴史を知ってもらうとともに、市の観光にも役立ててほしいと市へ寄贈いただきました。

野蒜石は郷土の石材として親しまれ、かつて年間約8,500トンもの石材が船で宮戸から塩釜港まで運ばれており、木島さん自身もかつて石材業に携わり県内各地の石堀造りや鳴子の農家の倉庫造りなども行っていました。(10月20日、市役所)



東部保健福祉事務所に要望会

施設改修支援など改善求める

市は東部保健福祉事務所への要望会を市役所などで開き、市内社会福祉施設の整備補助や障害児施設の改善等4件を求めました。その後、渥美市長は事務所職員を障害者支援施設「第二共生園」と障害児デイケアセンターこどもの広場を案内。議員も含めて現地視察を行いました。(10月24日)



地方創生に向け 相互連携

あいおいニッセイ損保と協定締結

市とあいおいニッセイ同和損保保険は、地方創生に関する連携協定を結びました。主に暮らしの安心安全や防災、産業経済・観光、農業振興など幅広い分野で地域課題の解決に向けて、双方の資源を有効活用しながら協働し、相互連携を図っていきます。また、市まち・ひと・しごと創生推進事業に係る企業版ふるさと納税として10万円も寄付されました。(11月11日、市役所)





自己ベストに挑戦!

2年ぶりのクロカン

第54回東松島クロスカントリー大会には、市内外から462人が参加。秋晴れの下、鷹来の森運動公園を周回する1.5kmから最大8kmのコースで、自己ベスト更新を目指し、快走しました。(11月24日)

小野地域 ふるさと愛あいまつり



地場産品販売や小学生鼓笛隊などにぎやかに

小野地区の恒例行事「小野地域ふるさと愛あいまつり」では、鳴瀬桜華小学校の鼓笛隊演奏が祭りに花を添えたほか、地場産品販売コーナーや軽食販売ブースなどが軒を連ねました。中でも人気だったのは、子ども向け屋台コーナー。くじ引きやの当てなどがあり、にぎわいを見せていました。(11月1日、小野市民センター(駐車場))

東北小学生女子野球交流大会



8道県23チーム出場

東北の女子球児たちが熱戦を繰り広げる「県知事杯・只笠榛奈旗争奪第15回東北小学生女子野球交流大会」が開かれ、今年はオープン・部とチャレンジの部に計23チームが参加。東松島市からは東松島ブルーホークスが参戦し、はつらつとしたプレーをみせました。(11月8～9日、鷹来の森運動公園)

まち守る 防災林を 手入れ



地域住民がマツの枝落とし

大曲地区の海岸沿いで、市民参加型の防災林の整備行事が開かれました。大曲まちづくり協議会が震災前からクロマツを植樹してきた場所で、約2,500㎡の土地に高さ6～9mほどの約300本が生育しています。この日は協議会の会員や大曲小児重ら31人が参加。震災前からまちを見守ってきたマツを健やかに保とうと、枝落としや周辺のごみ拾いに精を出しました。(11月29日)

みやぎふるさとCM大賞2025



6度目の受賞で「金賞」に輝く

県内33自治体が参加した、東日本放送主催の「第24回khhみやぎふるさとCM大賞」で、東松島市の作品が「金賞」を受賞しました。作品タイトルは「君色の、青。」で、本市の地域おこし協力隊員を中心に撮影・製作されました。受賞作品は、1月3日(土)に放送予定です。

震災の教訓 絵本で世界に伝える



「龍になった青い鯉のぼり」が完成・贈呈

震災の津波で亡くなった伊藤律君(当時5歳・大曲)を題材にした絵本「龍になった青い鯉のぼり」が完成し、市に贈呈されました。絵本を制作したのはドイツの児童書作家のソフィ・ボーネルさん。ソフィさんは、兄の伊藤健人さんから震災当時の状況や律くんのことを聞き取り、震災の教訓を世界に伝えるため日本語とドイツ語の2か国語表記で完成させました。市は贈呈された絵本を市内の幼稚園や小学校に配りました。(11月14日、市役所)

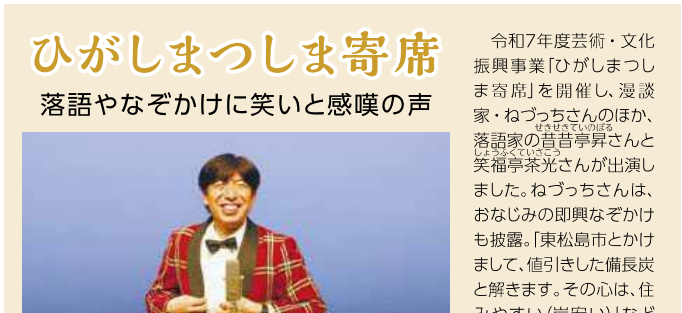
長寿の秘訣は 「何でも 好き嫌いなく」



高松さん 100歳の誕生日

特別養護老人ホーム矢本華の園を利用する高松いと子さんが100歳の誕生日を迎え、八木副市長が祝詞を手渡しました。高松さんは大正14年11月20日に5人きょうだいの次女として出生。結婚後は3人の子どもを育てました。長寿の秘訣は「何でも好き嫌いなく食べること」だそうです。(11月20日)

ひがしまつしま寄席 落語やなぞかけに笑いと感嘆の声



令和7年度芸術・文化振興事業「ひがしまつしま寄席」を開催し、漫談家・ねづっちさんのほか、落語家の昔昔亭昇さんと笑福亭茶光さんが出演しました。ねづっちさんは、おなじみの即興なぞかけも披露。「東松島市とかけまして、値引きした備長炭と解きます。その心は、住みやすい(炭安い)」などと秒速で答え、会場には笑いと感嘆の声があがっていました。(11月29日、市コミュニティセンター)